

こんにちは♪ 夜の日が落ちたあとと、朝の日が昇るまえが涼しく過ごしやすくなりました。虫の声も聞こえます。秋ですね。季節は確実に秋に変わりました。秋と言えば、ファッションの秋、芸術の秋、スポーツの秋、恋愛の秋、食欲の秋…。何をするにもふさわしい季節ですね。そして、忘れてはならないのが「読書の秋」！ 食欲の秋で食べ過ぎるとタイヘンですが、本は読みすぎてもすべて栄養になります。図書館で本を借りれば、サイフも空になりません。いいことづくめの読書の秋を満喫しましょう！ 秋の夜長は本とともに過ごしましょうね♪

「めっちゃ、ハロウィンじゃん！」いま図書館ではハロウィンの展示をしています。ハロウィンといえば、ホラーということで、今号の図書館通信では、大人気のホラー作家・背筋さんの作品を紹介します。ホラーが苦手な方は、表は読まずに裏側だけ読んでください。背筋さんの作品は、マジ怖いですから。

背筋さんの本（呪われます）

『近畿地方のある場所について』

「私の友人が消息を絶ってしまいました。その情報を提供していただきたいのです」。年下の友人の小川くんが、出版社に就職し、オカルト雑誌を刊行している部署へと配属になった。初仕事に懸ける熱意から、彼はその雑誌のバックナンバーをすべて読もうと試みる。すると、少なからぬ数の怪談記事や事件ルポに、近畿地方のとある地域が登場していることに気づいてしまう。ネットで検索しても、むやみにたくさん。これは「本物」ではないか。やがて、彼は失踪してしまう…。この本は、彼が近畿地方のある場所●●●●●について書かれたものをまとめた本だ。これでもかというほどに怖い話が山のように詰め込まれている。そして、まったく別の話だと思っていたそれぞれの話がつながっていると理解したとき、あなたはもう引き返せないところまで来てしまったことに戦慄することでしょう。冒頭の話は「おかしな書き込み」。動画の無料転載をするアダルトサイトの誰も利用しないコメント欄に、女優宛に「お山にきませんか。かきもあります」という書き込み。いたずらで住所を尋ねると、●●●●●。地図アプリで検索すると、古びた神社だった。しばらくして、「こしいれせよ」という書き込みが…。

『穢れた聖地巡礼について』

待望の第2作目！ こう来たかあというのが読んでみての感想。『近畿地方のある場所について』とはだいぶ読後感が違います。より小説らしくなってる！ 最後には「救い」すら感じさせます。「げんきなあなたがうまれます」。若者に人気の心霊スポット突撃系 You Tuber チャンイケこと池田の『オカルトヤンキー ch』。オカルト系の編集者である小林が大手出版社に持ち込んだのは、そのファンブック企画だった。ところが、『オカルトヤンキー ch』のチャンネル登録者数では書籍化は厳しいというので、ただ本にするのではなく、内容勝負のテコ入れをすることになった。『オカルトヤンキー ch』は心霊スポットに実際に行ってみて、その体験を番組にさせていただきただけのもので、その考証を行ってみることにしたのだ。再生回数の多かった動画で何が起きていたのか、そこに忌まわしい過去はなかったのか、追加取材を行う。幽霊をまったく信じていないという池田は、小林にお任せという感じだったが…。最強心霊スポット第1位、「変態小屋」。山奥の草ぼうぼうの場所に突然現れる体育館ぐらいの広さの広場。なかには草も木もまったく生えていない。その中央にフェンスに囲まれたプレハブ小屋がある。この場所こそ、変態小屋である。小屋のなかには無数の写真が散らばっているのだ。床が見えないくらい大量に。変態が盗撮写真のコレクションをする場所として使われているらしいが、時代も種類もバラバラである。誰が何のために!? 小林は写り込んでいた1枚の女性の写真を見たことがあると語る。池田は池田で、人形ばかりがたくさん赤いビニールのひもで吊り下げられている「人形屋敷」の動画の話思い出していた…。いわくありげな話をでっち上げて読者を喜ばせようと思っていた二人だったが、いつしか…。

『口に関するアンケート』

上作品とほとんど同時に刊行された第3作目は、見た目からして異様です。小さすぎるのです。普通の文庫ですらタテ 15cm あるのに、11.5cm しかありません。ページ数も少なく、たったの 60p です。裏表紙に「口は災いのもと」と書かれているのもイヤな感じ。「怖い話」がひとつだけ収録されています。大学生達がノリでネットで有名な心霊スポットで肝試しをする。そこは、山奥の墓地で、その敷地内にある大きな木が「呪われた木」として恐れられているのだ。ひとりずつ墓地を歩いて、その木のまえを通過して、裏口に階段から車へと降りる。そのときは、誰も夢にも思わなかった。一ヶ月後にメンバーのひとりが、呪われた木で首を吊った姿で発見されるとは…。

『がんばっていきまっしょい』 敷村良子

「あきらめない。みんなとなら言える」。実写映画、TVドラマ化もされた名作が、ついにアニメ映画化！愛媛県松山市の高校を舞台に、ボート部の活動に打ち込む5人の女子高生たちの姿を描いた傑作青春小説。一生懸命になることをあきらめた女子高生が、仲間とともに漕ぐボートに夢中になっていきます。タイトルは著者の母校で実際に使われていた「気合い入れ」のかけ声です。「女子ボート部、作りたいんです」。高校入学後に、ボートに魅せられた悦子は、女子のボート部をたったひとりで設立する。競技に必要な残りの4人もなんとか集めたが、新人戦で惨敗する。勝てる気はさらさらなかったが、それが恥ずかしいレースだったことはみんな自覚していた。「このままでは、やめられんねえ」。5人はこの敗北を転機に生まれ変わった。「真正面からぶつからないで、斜に構えるポーズをとっていたのは、失敗するのが恥ずかしく、傷つくのが怖かったからだ」。一生懸命やることをバカにしていた悦子は、がむしゃらになる…。

『嘘』 北園浩二

『かくしごと』というタイトルで映画化！杏の熱演が話題に。「あの夏、私たちは『家族』だった——」。絶縁状態だった認知症の父親・孝蔵の介護をするために、5年ぶりにひとりで彼が暮らす田舎の家に帰った絵本作家の千紗子を迎えたのは、「どなたかな？」という言葉だった。父は完全に娘の存在を忘れてしまったらしい。翌日、親友と飲んでいるときに、急用の電話がかかってきて、代行を待ってられずに車で帰ったところ、男の子を車ではねてしまう。運転していた公務員である親友のために、誰にも連絡せずに千紗子たちはその子を家へと運び込む。男の子はびしょ濡れで服を脱がすと、青く腫れた痣やタバコを押しつけられたとしか思えない、丸いやけどの痕がいくつもあった。そして、「助けて……」とうわごとを言うのだった。男の子は虐待されていたのではないか？翌朝になって、ようやく彼は意識を取り戻した。しかし、名前を尋ねても、「忘れた」と言うばかり。記憶喪失なのだろうか？実は千紗子は5年前に川の事故で実の息子を亡くしていた。息子と男の子の姿が重なる。千紗子は嘘をついた。「あなたは、私の子よ」。こうして、娘のことを忘れてしまった父親と、かつて息子を喪ってしまった母親と、自分が誰なのかわからない子どもとの奇妙な共同生活が始まるのだった…。「あなたはすごくつらい思いをしたの。だから、そのことはもう思い出さなくていい。つらいことなんて、思い出さなくていいの。ぜんぶ忘れてしまっていていいのよ」。

『本心』 平野啓一郎

映画化！「— 母を作ってほしいんです」。舞台は近未来の日本。シングルマザーで自分を育ててくれた、唯一の家族である母親を喪った29歳の朔也は、その悲しみを乗り越えることができず、VF（ヴァーチャル・フィギュア）で母を再生させるという選択をした。VFとは、最先端のAIとVRの技術を駆使して仮想空間に作られた、本人と瓜二つで本人らしくふるまい本人らしく会話をするのできる人工の人間のことだ。母はこの時代には合法化されている「自由死」を望んでいた。自由死とは、人生に満足した人に与えられる安楽死のことだ。朔也は他人に自分の体を貸して命令通りに動く「リアル・アバター」という仕事をしていて、母に雇われて伊豆の河津七滝^{かわづなだる}に行ってみせたときに、母は朔也の仕事を理解し満足したことを示したあとで、「もう十分」だと自由死の希望を告げたのだった。「今はすごく幸せだから、このまま死にたい」「朔也と一緒にいるときがいちばん幸せだから、朔也に看取られて死にたい」。もちろん朔也は猛反対して思いとどませたのだが、結局母は彼が不在のときに事故死してしまったのだった。母の残したすべてを学習したVFは、母の「本心」を語り出してくれるのではないかと担当者は尋ねていた。「VFの母に、ただ優しく微笑んでもらいたいのか、それとも、本心を語ってもらいたいのか。たとえそれが、僕を一層深く傷つけることになるとしても」。

『しばらくあかちゃんになりますので』 ヨシタケシンスケ

「かくれが」にはもう訪れてみましたか？ ヨシタケさんひさしぶりの大きなサイズの新刊は、「あかちゃんになりたい！」という誰もが抱くであろう願望を肯定してくれる絵本です。「みーちゃんはおねえちゃんだから」とあかちゃんのお世話で手一杯のお母さんに言われて、みーちゃんはあかちゃんになろうとします。すると、みーちゃんが出かけたあと、疲れたお母さんもあかちゃんになってみるのですが…。それだけではなく、普段は真面目に働いているお父さんにもあかちゃんになれるスペースがあって…。しばらくあかちゃんになりますので、失礼。

————— 今号の図書館通信を作成するにあたって、ちょっとした怪異がありました。『口に関するアンケート』の表紙画像をコピーしようとして、いつものサイトでその本をクリックしたら、表紙が真っ白だったのです！ ほかのサイトからコピーをしました。印刷するときにもし表紙が真っ白だったらどうしよう!? とビビりながら印刷しています。気づいたら、図書館通信のナンバーも13だし！ では、図書館で☺